

萩の湯だより2月号

NO. 103

住 所 東京都台東区根岸2-13-13

JR山手線鷺谷駅徒歩3分 JR日暮里駅徒歩8分

電 話 03-3872-7669

HPアドレス <http://haginoyu.jp/>

営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)

11:00~深夜1:00 (最終受付 0:30)

2月14日、15日はチョコレート風呂！

バレンタインデーの季節ですね。2月14日は薬湯が「チョコレート風呂」露天風呂が「紅茶葉」、2月15日は薬湯が「コーヒー豆」、露天風呂が「チョコレート風呂」になります。カカオの甘い香りが漂うお風呂をお楽しみください。両日とも中学生以下（中学生を含む）先着130名様にチョコレート菓子詰め合わせをプレゼント！

*オーナーのコラム

海外視察研修もエストニア編で今回が最後です。エストニアと聞いて皆様はどのようなイメージを抱くでしょうか？旧ソビエト連邦の一部であったため厳しい冷戦時代を生き抜いた人々や、大相撲の把瑠都闘のようなくましい人たちを思い浮かべる方も多いかもしれません。私自身もそのような印象を持っていましたが、エストニアの最大の特徴は意外にもIT先進国であることです。エストニアは1991年にソ連から再独立を果たしました。当時の国家予算は約230億円と非常に少なく、国土は九州と沖縄を合わせたほどの広さ（デンマークやオランダよりも大きい）にもかかわらず、人口は約130万人しかいません。このような状況で国民全体に公平な行政サービスを行き渡らせるには、多大なコストがかかるため、デジタル化は不可欠でした。独立後、政治家たちはデジタルを国家運営の前提と捉え、方向性をぶらすことなく取り組み続けたことが、現在の成功につながっています。婚姻届、出生届、保育園の選択、会社設立、確定申告までオンラインで簡単にできますが2023年に離婚手続きもできるようになってほぼ100%デジタルで完結できるようになりました。離婚だけはその場の勢いで手続きしてしまう人が出ないよう最後まで慎重に議論したそうです。面白い手続としては国有地の木材を伐採するとき写真を撮って送ると価格が表示されその場で決済すれば持ち帰ることが出来るそうです。日本のマイナンバーカードもエストニアを参考にして作ったと言われています。事前にIT先進国と聞くと近未来的な印象ですが実際はどのような感じなのでしょうか。

ヘルシンキからエストニア・タリンへ入国するときは大型客船で移動しました。約2時間の船旅ですが50ユーロほどの追加料金でビュッフェとアルコール飲み放題が付いているのはお得です。船の中に免税店もありあつという間の2時間でした。

エストニアに到着してまず驚いたのは物価の安さです↑

発行日 令和8年2月01日

作成者 長沼 雄三



料金 大人550円 小学生200円 幼児100円

サウナ プラス350円 (土日祝450円)

タオルセット 100円

定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

薬湯の予定

2月

1	日	みかん	15	日	コーヒー豆
2	月	生緑茶	16	月	シャンパン
3	火	ラベンダーカミツレ	17	火	定休日
4	水	松の香	18	水	菜の花
5	木	シャンパン	19	木	玉露カテキン
6	金	ルイボスティー	20	金	万田酵素
7	土	生姜エキス	21	土	イヨシコーラ
8	日	パインアメ	22	日	マイトルビン
9	月	オフコーラ	23	月	スミレ
10	火	温感EX	24	火	みかん
11	水	みかん	25	水	生緑茶
12	木	実宝湯	26	木	ラベンダーカミツレ
13	金	松の香	27	金	生姜エキス
14	土	チョコレート	28	土	菜の花

*上記は実宝湯・生緑茶・ルイボスティー・コーヒー豆を除き全て入浴剤を使用します。

露天風呂 14日紅茶葉 15日チョコレート入浴剤 20日硫黄泉

↓コーラ500mlは1ユーロ(180円)、ビール500mlは1.7ユーロ(300円)、ハンバーガーセットは4.5ユーロ(800円)と日本とあまり大差がありません。ヘルシンキの住民もこの安さを求めて休みの日に多く訪れるそうです。街中はヘルシンキと同じく道路が広くて人も少ないですが、中心にある旧市街に入ると雰囲気が一変します。魔女の宅急便の街並みのモデルとなった場所でドラクエの世界に入り込んだような感覚です。旧市街を歩くだけでも楽しいのですが多くの飲食店やお土産屋があり活気があります。しかし国会議事堂の前にロシア正教会があり、ロシア大使館の前は抗議の横断幕が掲げられているなど国内でもエストニア人とロシア系エストニア人が混在する中で、複雑な思いを抱えながら生活している人々の存在も強く印象に残りました。

タリンでの滞在は1日のみだったため、サウナはホテル内の利用となりましたが、3種類のサウナと大きなプール、温かい浴槽があり、十分に満喫することができました。ただ、私がぜひ訪れたかった巨大サウナ施設「エラムススパ」には行けなかったため、次回訪問時の宿題としたいと思います。同行したメンバーもエストニアはもう一度行きたいという意見が多かったので皆様もぜひ機会があれば訪問してみてください。